

# 校内研だより no.8

四万十市立西土佐中学校  
2021年1月27日 文責：福田

めざす授業 『一緒に考えたいくなる授業』（発問の工夫によるPDCAサイクルが機能する授業）

## 第2回組織づくり講座 1年国語『感じたことを整理する』

1月27日は国語の全校研でした。この1年間、チームで授業改善してきたことの検証の場です。年度当初に校内で確認した授業に近づいているのか、外部の目も入れて検証し、今後につなげていきます。

### 目指す授業像 『一緒に考えたいくなる授業』

6月 3日	2年英語（全校研） ※ 外への公開は中止
6月15日	3年社会（チーム研）
6月24日	3年音楽（全校研）
7月 9日	2年理科（チーム研）
10月 5日	3年数学（全校研）第1回 組織づくり講座
1月27日	1年国語（全校研）第2回 組織づくり講座

### 〈目指す生徒像〉

○自分の考えをもち、根拠をもって  
伝え合うことができる生徒

○自信をもって全員が発言できる生徒

○双方向で深まりのある話し合いができる生徒 ○挑戦できる生徒

### 〈授業での留意点〉

○表現活動の場を仕組む ○信じて待つ、任せる ○しゃべりすぎない ○問い返す

本校の生徒は、『西中魂（挨拶・返事、全力、主体性）』の伝承により、挨拶がよくできるまじめな優しい生徒たちです。授業規律や友達と協力する態度も身に付いています。ただ、学力の定着については、学年によって傾向が違います。また、個別に支援が必要な生徒も存在します。1学期の総括をする中で、課題に対する取り組みのキーワードを、『連携』『コミュニケーション』『特別支援』の3つに整理しました。そして2学期は、この3つを意識して、生徒理解と授業改善を進めました。

これまでの研究授業で見た課題は「生徒に学びのつながりを意識させること」「まとめと振り返り」「個に応じた支援」でした。また、毎学期実施している『授業アンケート（対生徒）』の結果から、国語科の課題として「生徒がやりたくなる課題設定」がありました。そこで国語科では、単元構想を練り、ノート指導を丁寧に行うことを心がけてきました。

### 指導案検討会と模擬授業

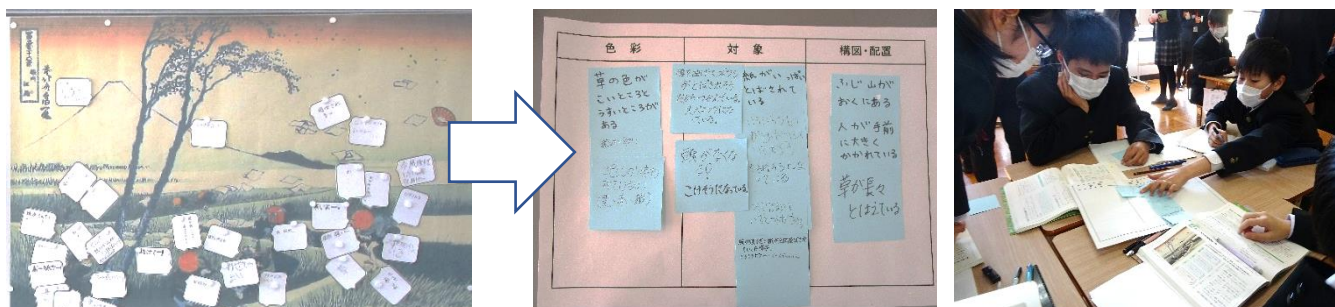
12月16日に合同チーム会で指導案検討会を実施しました。西土佐小では国語科で授業研究を深めています。可能な限り中学校教員も小学校の授業公開に参加し、国語科は授業後の協議にも参加させていただきました。そこで、来年度の新学指完全実施に向け、西土佐小の指導案の形式を参考に、新しい指導案の形式で提案しました。



1月20日のBチームでの模擬授業では、授業を見る視点「やりたくなる課題であったか」「生徒一人ひとりが自分事として活動していたか」に焦点を絞り、美術科が2学期に行った鑑賞の授業での生徒の様子（友達と楽しく、シャガールの絵からいろいろなものを見つけることができていた。鑑賞の話合いとしては深まりはなかった。）から、生徒全員が『自分事』として授業に参加する手立てを考え合いました。めあてを「この絵には何が隠れているだろう」にしたら、美術の時間のようにいろいろなものを見つけるのではないだろうか、吹き出しを用意し、絵の中のものにしゃべらせてみたら、見えるものだけではなく、想像したことが出てくるのではないかと、一人では思いつかない発想が出ました。

### 研究発表会での公開授業

「根拠を明確にして魅力を伝えよう 鑑賞文を書く」の練習をする時間です。美術作品を鑑賞するための観点を知り、さまざまな観点から作品の魅力を見つけることができるようになることをねらっています。24名の参観者に驚いた子どもたちでしたが、普段通りでがんばってくれました。



教材に興味を持たせるために吹き出しにセリフを書かせました。多くが人物に注目し、自由に表現していました。富士山、草、祠、水に着目した生徒もいました。次に吹き出しの根拠を付箋に書かせ、主な観点を入れたワークシートに班で付箋を貼らせると、生徒は絵の特徴と観点を結び付けていました。

### 研究発表⇒授業についての協議⇒他校からの参加者を交えての協議『教科間連携・チーム会の充実』



小学校とは違い、授業研究には教科の壁が立ちふさがっていた中学校ですが、近年は徐々に壁が薄く低くなっています。この1年、本校でも、目の前の子どもの姿を通して教科の専門性を越えた授業づくりが、協働できるようになってきました。フットワーク軽く意欲的な若手と経験豊富なベテランが、得意分野を生かして『自分事』として学校運営に参加することで、子どもたちは確かに成長しています。授業で見えた一人ひとりの成長ぶりや可能性の煌めきを、楽しげに話す職員室での会話。『チーム西土佐』の思いを強くした研究発表会でした。

2月17日(水)の「四万十市一校一役教育研究『オール四万十』実践交流発表会」でも研究成果を報告します！！